IKUBUNKAN GLOBAL
HIGH SCHOOL

生徒諸君、

困難おめでとう

学校法人 郁文館夢学園

Invest in your
CHALLENGE

Invest in your
GROWTH

Invest in your
FUTURE

警鐘

過去20年間の日本のGDP*成長率

6%

（2002～2022年）

［中国］894%［米国］132%

＊GDP…国内で生産されたモノやサービスの付加価値を表す国内総生産のこと

出所：Global Note

日本の借金額

約1,270兆円

（2023年3月末時点）

世界最多

対GDP比（2022年）
［日本］261%
2位［ギリシャ］177%
12位［米国］122%

出所：財務省、Global Note

世界時価総額*ランキングトップ50に占める日本企業の数

0社

（2023年）

＊時価総額…企業の価値や規模を表す指標

出所：STARTUP DB

日本の年間人口減少数

55万6千人

12年連続の減少

（2022年）

［鳥取県の人口とほぼ同じ］
53万9,227人（2023年5月1日時点）

出所：総務省統計局

OECD加盟38ヵ国の労働生産性*の比較における日本の順位

29位

（2021年）

［米国］4位［韓国］24位

＊労働生産性…労働者一人当たりまたは1時間当たりに生産できる成果

出所：公益財団法人 日本生産性本部

THE世界大学ランキングトップ100校における日本の大学数

2校

（2023年）

［東大］39位［京大］68位

出所：Times Higher Education World University Ranking 2023

過去20年間の日本の平均年収上昇率

3.3%

（2001～2021年）

平均賃金（2021年）
［日本］39.7千米ドル
［米国］74.7千米ドル
［韓国］42.7千米ドル

出所：OECD

ジェンダー・ギャップ指数*

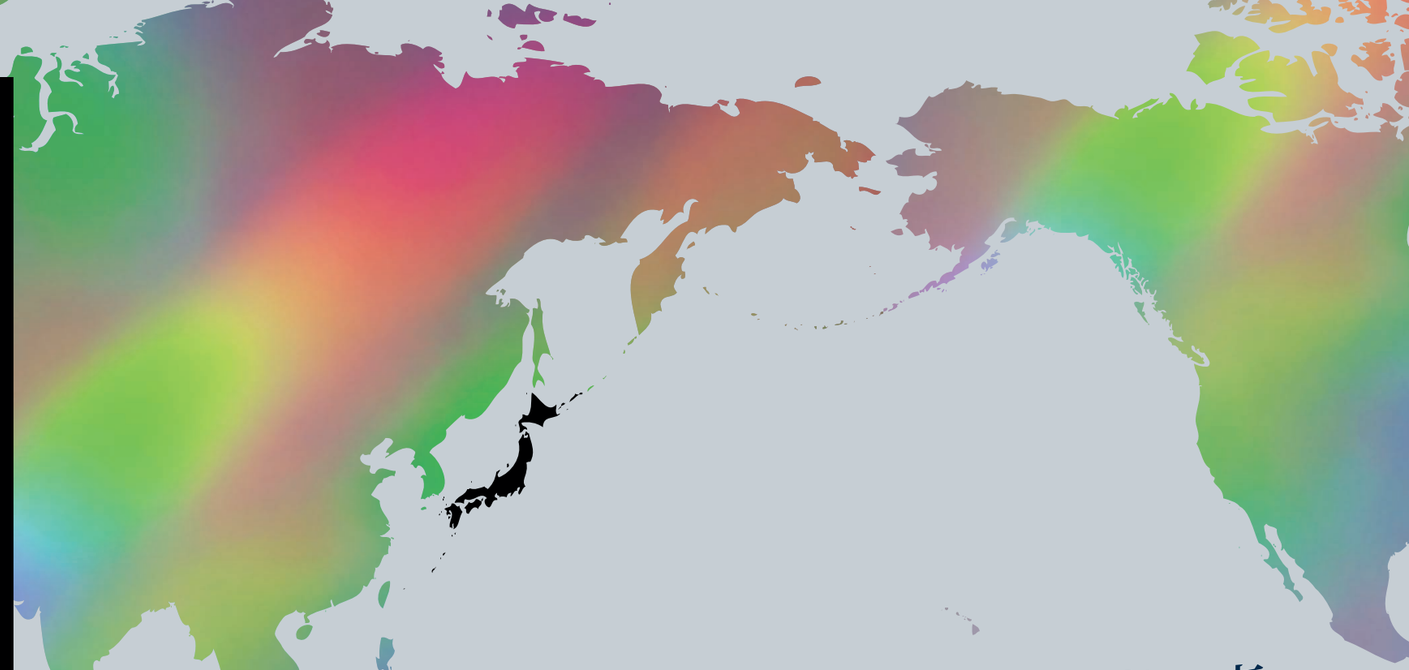
116位/146ヵ国中

（2022年）

［米国］27位［カンボジア］98位

＊ジェンダー・ギャップ指数…経済・教育・政治参加などの分野で世界各国の男女格差を数値化したもの

出所：世界経済フォーラム



変わらない日本
変わり続ける世界
君は、じっとしていられるか？

戦後の焼け野原から高度経済成長期を経て、“Japan as Number One”と謳われるまでに至った日本。しかし、バブル崩壊後の約30年間は世界の成長から取り残されてきました。数字は嘘をつきません。安全・安心で文化面では美しい国であり続けていることに間違いはないですが、経済的には今や「後進国」になりつつあると言われています。

日本財団が実施する18歳意識調査（国際比較）における「自身と社会の関わりについて」では、直近2回の調査（2019年、2022年）で日本は全ての項目で参加国中最下位となり、特に、「自分は大人だと思う」「自分の行動で国や社会を変えられると思う」がそれぞれ3割に満たず、他国に差をつけて低い結果が出ています。過去30年に及ぶ日本の衰退とこの調査結果は連動していると思わざるをえません。

郁文館グローバル高等学校では、18年間にわたり築き上げてきた「日本一厳しく成長できる1人1校1年間の全員留学」を通じ、グローバルな視点で日本をとらえ、未来の社会と自らの人生を切り拓くことができる人材の育成に力を注いできました。2024年4月からは、新たな挑戦と成長のステージとして「Honors（オナーズ）」クラスを新設し、これまでの取り組みをさらに進化させた「世界最難関基準」の学びを提供していきます。

さあ、「挑戦と成長」の世界へ、ようこそ。

MIKI WATANABE

『世界の先頭を走り続ける日本』。これはもはや日本人だけが考える妄想の姿になりつつあります。
バブル崩壊後の失われた30年、日本はGDP成長率、生産性、競争力などで他の先進国に軒並み遅れを取り、その原因ともなっている、少子高齢化、生産年齢人口の減少などに本質的な手を打つことも出来ず、結果、財政破綻の危機も現実味を帯びてくる状態まで突き進んできてしまいました。残念ながら現在の日本は既に後進国と言っても過言ではない立ち位置なのです。
この右肩下がりの時代を生きていく今の子どもたち、そして日本という国に必要なことは「世界標準」を受け入れ、それを前提に思考を開始するというマインドの大転換であると考えています。そんな思いの中、世界で戦うための「術」を身に付けさせたい、日本を再浮上させるような世界で活躍するリーダーを育てたい、そのための教育内容を考え抜いた学校がこの郁文館グローバル高等学校です。
高校の3年間は多感であり、感受性豊かで、成長への意欲が溢れている、まさに無限の可能性を秘めた人生のゴールデンタイムです。この貴重な時間に海外で学ぶことが、将来の人生に大きな影響を与えることに対して疑いの余地はありません。自己の人生、そして子どもたちが活躍する未来の社会に対する先行投資であると信じています。
私たちはこの郁文館グローバル高等学校で「世界標準」の教育を提供し『世界最高基準』まで子どもたちが持つ可能性を引き出す、そんな本物のグローバル教育をお約束します。

郁文館夢学園 理事長 兼 郁文館グローバル高等学校 校長

渡邉 美樹（わたなべ みき）

【プロフィール】
ワタミ株式会社創業者。現在は代表取締役会長兼社長として、国内及び海外十数か国で事業を展開。これまでに日本経団連理事、政府教育再生会議委員、神奈川県教育委員会教育委員、そして参議院議員として外交防衛委員長なども歴任。「公益財団法人School Aid Japan」代表理事として、カンボジア・ネパール・バングラデシュでの300校を超える学校建設や孤児院の運営など世界をフィールドに積極的な活動を行っている。

×

YOSHIO KAMAKURA

『困難おめでとう』— これは、私が「日本一厳しい1人1校1年間留学」を経験する本校の全生徒たちに贈る言葉です。留学中、保護者を含めた日本人とのSNSでのコミュニケーションを禁止する本校の留学において、生徒たちは孤独と向き合い、ホームステイ生活、現地校での授業やクラブ活動、ボランティアや個人研究活動に挑戦していきます。“comfort zone（快適な空間）”を敢えて離れ、度重なる困難（チャンレンジ）を乗り越えていく過程を通してこそ、人は飛躍的な成長を遂げ、真に自立していくことができます。海外留学の醍醐味とは、まさにこの「挑戦と成長」の一言に尽きます。
本校では留学の事前・事後指導と並行して、早期からグローバル併願（日本と海外の大学に同時出願）を念頭に置いた進路指導を行うことで、自分の好き・得意を活かした「夢教育×逆算のグローバル教育（10,000時間プロジェクト）」を行っています。その結果、生徒たちは世界地図からより高い学術・研究水準に基づく自分に最適な大学を選び、将来世界中でたくさんの「ありがとう」を集めるための人生の構想図を描いていくようになります。
海外留学や大学進学は教育「費用」として捉えるのではなく、挑戦を通じた圧倒的な人間的成長や自立を促す教育「投資」として考えるべきです。
将来のジャパン・リバイバルと世界平和を担う幾多の人材が、ここ郁文館グローバル高等学校から巣立っていくことを願っています。

郁文館グローバル高等学校 教頭

鎌倉 好男（かまくら よしお）

【プロフィール】
都内私立高校の教頭職を経て、2022年4月より本学園に着任。国際協力NGOを主宰し、途上国における教育支援に携わってきた経験から、近年では「SDGsに貢献できる人材育成」に向けたグローバル教育を推進する中で、UCLAやUBCなどの海外名門大学をはじめ、米リベラルアーツ大学等に合格者を多数輩出している。
MS in Education from Walden University
CSML from Harvard Graduate School of Education

WHY? 郁文館
グローバル高等学校

5 ADVANTAGES

ADVANTAGE 1
1人1校1年間
「挑戦と成長」を追求する
本気の海外留学

1,400+名
1年間留学に送り出した生徒数
（2006～2022年度）

► P.05

ADVANTAGE 2
文理融合・社会探究型
「世界最難関基準」の
Liberal Arts教育

107単位
日本と留学先で取得する
3年間の合計履修単位数

► P.07

ADVANTAGE 3
世界と繋がり
社会変革に貢献する
実践型SDGs教育

8つのゼミ 169のターゲット
8つのゼミとSDGs169のアクションターゲットから選ぶ
My SDGs個人研究活動

► P.09

ADVANTAGE 4
世界TOP大学が照準
グローバル基準の
戦略的受験指導

TOP 100 27名　TOP 200 54名
過去5年間のTHE世界大学ランキング2023
トップ200合格者数

► P.11

ADVANTAGE 5
夢からの「逆算」で
奇跡を起こす
10,000時間プロジェクト

10,000時間
高校3年間で
夢実現のために使う時間

► P.13

1

One Transformative Year Studying Abroad

1人1校1年間「挑戦と成長」を追求する本気の海外留学

郁文館グローバル高等学校の海外留学は、全員が1年間異なる現地校に留学する、本気の留学プログラム。知り合いもいない、日本語も使えないという厳しい環境の中で、生徒達は孤独に向き合い、度重なる困難やチャンレンジを乗り越えていく過程で、飛躍的な成長を遂げていきます。

世界地図から探す1人1校の留学先

留学先は生徒の希望や興味・関心、性格などを考慮し、一番生徒が伸びる環境、個性を発揮できる環境をマッチングさせています。留学先となる学校は、全て郁文館グローバル高等学校の教員が現地に赴き、本校の教育理念に共感し、生徒の成長を共にサポートするパートナー校を厳選しています。

STUDY IN CANADA

移民国家と呼ばれるカナダでは、多種多様な文化の中で、様々な異文化体験をすることができます。カナダの学校ではキャリア教育が重視されており、ビジネスやプログラミング、デジタルアートなど、バラエティに富んだ実践的な授業があります。

出発 1月 → 現地校での授業 → 7〜8月 夏季休暇 → 現地校での授業（トロント大学夏季研修／ボランティア活動／個人研究） → 帰国 12月

STUDY IN THE USA

世界をリードする経済大国アメリカでは、ビジネスやテクノロジー、アートなど、様々な分野の最先端に触れることができます。アメリカの高校教育は幅広く実践的なカリキュラムが特徴で、生徒の自己表現や主体的な学びを重視しています。

出発 1月 → 現地校での授業 → 7〜8月 夏季休暇 → 現地校での授業（Wayland Academy Online／集中講座／ボランティア活動／個人研究） → 帰国 12月

STUDY IN NEW ZEALAND

美しい自然に囲まれたニュージーランドでは、緑あふれる環境で穏やかな生活を味わうことができます。また、ニュージーランドの教育水準は高く、国際レベルの高度な教育プログラムを受けることができます。

出発 1月 → 現地校での授業／ボランティア活動／個人研究 → 東南アジア研修（予定） 10〜11月 → 帰国 12月

6 FEATURES -6つの特徴-

- 同じ学校に一人ずつ留学する「1人1校」が原則
- 現地の生徒と同じクラスで学ぶ正規留学
- 単位互換システムにより3年間での卒業が可能
- 現地でしかできない挑戦と成長を促す厳しい留学ルール
- 現地在住の提携日本人スタッフが留学生活をサポート
- 生徒の半数以上が英検準1級以上の英語力に到達

STUDENT VOICE -留学体験談-

伊藤 広太郎さん
（2023年3月卒業、上智大学外国語学部進学）
［留学先］カナダ
KOTARO ITO

英検1級、IELTS8.0を取得しました！

留学中は戦時中のドイツを取り上げた英語の授業や、カナダの歴史の授業が面白かったです。また、軽音楽部に入り初めてドラムを練習したり、日本文化部を立ち上げ日本の文化を生徒に教えたりしていました。ホストファミリーとはよくコテージに行き、湖で泳いだりキャンプファイヤーをしたり、メープルシロップの作成現場を回るなど、カナダの大自然を満喫しました。ホストファミリーと様々な議論をしたり、現地のファストフード店で職業体験をすることで、特にスピーキング力が大きく向上しました。帰国後には、英検1級とIELTS 8.0（2つのセクションで9.0）を取得することができました。日本と比べて不便なこともありましたが、そういった経験を通じて親や友人に感謝する気持ちが芽生え、日本の素晴らしさを改めて実感することもできました。

中川 姿さん
（現2年生、英検1級）
［留学先］ニュージーランド
SUGATA NAKAGAWA

精神的な成長を実感しています。

現在ニュージーランドに留学中です。現地の学校は芸術の科目やプログラムが豊富で、私は英語、数学、地理、デジタルテクノロジー、アートデザイン、物理の6つの科目を履修しています。地理の授業では、データ集めをするためにトンガリロ国立公園に行くなど、大自然の中で学んでいます。私の選択した授業は宿題の量が多く、帰宅してから3時間は宿題や予習復習に取り組んでいます。勉強以外にも、バスケ部に所属したり、友達とチェンバーグループを結成して曲のデュエットにも取り組んでいます。留学初日と今の自分を比べると、精神的に大きく成長したと感じます。留学当初は、様々な困難や緊張に直面し、ホームシックになることもありましたが、今では自信がつき、残りの留学生活を充実したものにしたいという強い信念が芽生えています。

佐々木 朝さん
（現3年生、IELTS6.5、SAT1,230点）
［留学先］カナダ
TOMO SASAKI

英語力の向上だけではなく最先端技術の知見が拡がりました。

私は最初のセメスター（学期）で、英語、数学、科学、マーケティングの4つの授業を履修しました。授業スタイルは先生によってかなり異なります。留学前の指導のおかげで授業にはついていけましたが、ディスカッションなどの"生きた英語"についていくのには苦労しました。また、ディベートクラブに所属したり、様々なボランティアに参加することで、友達との仲も深め、英語も上達しました。トロント大学のサマーキャンプに参加する機会もあり、AIの最先端技術に触れることで、プログラミングがいかに面白いものであるかを改めて知り、知見を広めることができました。帰国後にはIELTS6.5を取得することができました。高校生として、まだ何も知らない状態で留学を経験したことは、本当に良かったと感じています。

その他の海外研修プログラム（任意参加） -SDGs STUDY TRIP-

カンボジア SDGs研修

渡邉理事長兼校長が代表理事を務める公益財団法人が運営する孤児院や日本語学校、中学校を訪問して子どもたちと交流したり、現地の住宅街を訪れ、炊き出しなどのボランティア活動を行っています。また、様々な文化遺産や博物館にも訪問し、カンボジアの歴史や文化、現地の生活を五感で学んでいます。

バングラデシュ SDGs研修

現地にある郁文館夢学園の姉妹校NDMSC（ナラヤンクルドリームモデルスクールアンドカレッジ）を訪問し、同年代の生徒と一緒に授業を受けたり様々な異文化交流を行っています。また、生徒の自宅やスラム街、グラミン銀行などを訪問し、経済成長著しいバングラデシュの現状を肌で学んでいます。

アフリカ SDGs研修

これまでにルワンダ共和国やコンゴ民主共和国での海外研修を実施。生徒たちは現地の学校やコミュニティと交流し、人々の生活や営みを直接体験することで、アフリカ大陸の多様な文化や社会の実情を深く理解すると同時に、自身の視野を広げ、国際協力の重要性を学んでいます。

PICK UP

留学中の「折れない心」を育てる
レジリエンス教育

留学生活においては、新しい環境や文化、言語の壁など多くの困難に直面することがあります。そんな中で「折れない心」を持ち、困難を乗り越えるためには、レジリエンス（心の回復力）が必要です。本校には専門のスクールカウンセラーが常駐しており、留学前に生徒のレジリエンスを高めるための様々な教育を行っています。

2

World Class Sociological Research-Based Liberal Arts Education

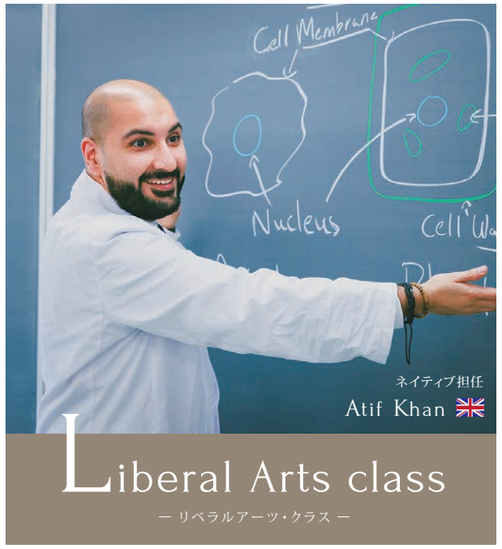
文理融合・社会探究型「世界最難関基準」のLiberal Arts教育

カリキュラムの特徴 –CURRICULUM–

郁文館グローバル高等学校では、時代の変遷に立ち向かっていける幅広い教養と実行力を兼ね備えた国際人を育成します。Liberal Arts主体のカリキュラムやSTEAM教育により、広い視野と問題解決能力を身に付け、グローバルな社会において活躍するための能力を磨きます。2023年度からはこれまでに培ってきたSDGs探究・個人研究活動を外部アカデミストとの連携によりさらに深化させ、国内外の名門大学に進学し、グローバルなフィールドで活躍するための基盤を養成しています。

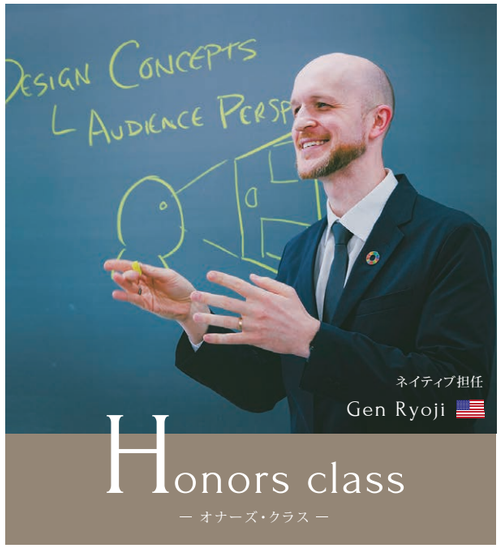
クラス編成 –CLASSES–

一人ひとりの夢、挑戦に合わせて選択する2つのクラス



科目横断的に幅広い知識を身に付け、多角的な考え方やアプローチができる「国際標準の総合力」を養います。また、協働ゼミや個人研究を通じて特定分野で武器となる専門性も身に付けます。1年次には理科のイマージョン授業やグローバルサウスと呼ばれる開発途上国について学び、2年次にカナダまたはニュージーランドに1年間留学、個人研究を軸とした専門性も活かし、グローバル併願での進路を目指します。

目指す進路
- 海外大学
- 国内難関私立大学
- 高大連携指定校（国内）



米国名門高校Wayland Academyとのパートナーシップによるの Dual Diploma Program（DDP）が特徴。1年次から日本と米国のカリキュラム（STEAM教育を含むリベラルアーツ主体のカリキュラム）を同時に履修し、2年次には全員が米国に1年間留学することで、卒業時には日米2つの高校卒業資格を取得します。早期から戦略的な進路指導・準備を行い、世界トップ大学（THE世界大学ランキング100位以内）への進学を目指します。

目指す進路
- 世界トップ大学（海外）
- 高大連携指定校（海外・国内）
- 国内難関私立大学

独自のイマージョン教育 –ENGLISH IMMERSION PROGRAM–

共通

郁文館グローバル高等学校では国際科独自の英語専門科目を設定しています。1年次には、Liberal ArtsクラスではIntegrated Scienceを、HonorsクラスではIntroductory Biologyを必修科目として履修します。さらに、3年次にはHonorsクラスはBiology、Graphic Arts、Sustainable Studiesを必修選択科目として履修します。授業は全て英語で行われ、生徒たちは英語環境の中で学ぶことで実践的な英語力を身に付けていきます。

［ 科目 ］

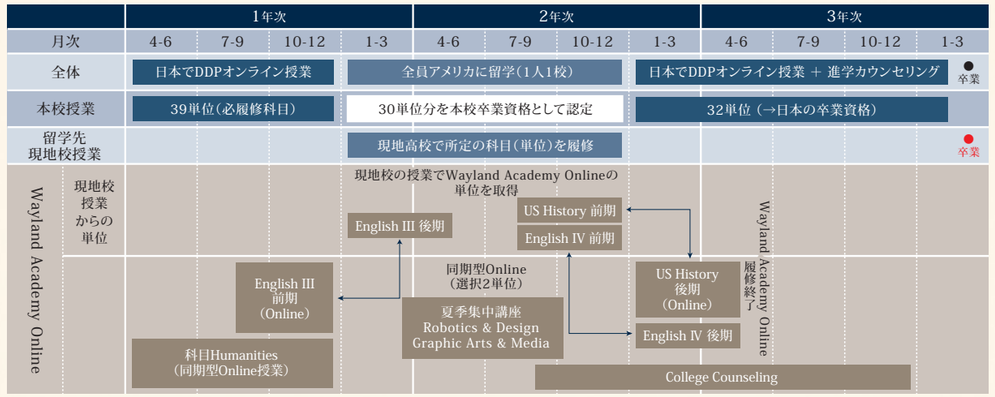
1年次　Humanities / Debate & Discussion L H / Introductory Biology H / Integrated Science L / Essay Writing L H
2年次　Robotics Design / US History / Graphic Arts & Media / Fitness（PE） / Math / Chemistry / Physics / Political Science / Business
3年次　Sustainable Studies H / Biology H / Graphic Arts H / SAT&IELTS Prep. L H

＊青字は留学先（例）＆USDPのカリキュラム（下線は選択科目）　L … Liberal Arts class　H … Honors class

— Honors class の特長 —

米国名門高校Wayland Academyの卒業資格を取得

Wayland Academyは全米トップボーディングスクールの1つで、Liberal Arts教育とCollege Prep（大学進学準備）に定評のある伝統校です。卒業資格全21単位中の15単位は郁文館グローバル高等学校の履修科目で代替し、6単位分を1年間の留学先での履修単位及びオンライン授業で履修することで、日本の高校卒業資格と同時にWayland Academyの卒業資格を取得することができます。



世界トップ大学（THE世界大学ランキング100位以内）との進学連携資格であるCollege Advisement at Wayland Academyも同時に取得

WAYLAND ACADEMY
global, online learning program

College Advisement at Wayland Academyは、Wayland Academyによるカレッジアドバイザリープログラムです。このプログラムでは、生徒一人ひとりに専属のカレッジカウンセラーが付き、進学に関するあらゆるサポートを行います。さらに、Wayland Academyのパートナー大学のうち最低1校への合格が保証され、独自の奨学金も加算されます。パートナー大学には、世界大学ランキングトップ100の大学であるシドニー大学（54位）、マンチェスター大学（54位）、オーストラリア国立大学（62位）などが含まれます。

グローバル基準の進路指導

世界のトップ大学に挑戦するために、早期から戦略的な進路指導を行います。海外大学受験には、高校の成績、英語力やSAT（米大学進学試験）のスコア、課外活動、エッセイなど、出願から逆算して計画的に準備する必要があります。Honorsクラスでは、1年次からIELTS/SAT対策講座、ポートフォリオ作成指導、専門家によるカウンセリング、エッセイ個別指導など、様々なプログラムを準備しています。

Wayland Academy 校長メッセージ

Welcome to Wayland Academy! Through our partnership with Ikubunkan Global High School, we offer the Dual Diploma Program to prepare students for future careers and experiences. We also work closely with students as they seek acceptance at the best universities in the US, and around the world.
This inspiring program and partnership will undoubtedly leverage the talents and the character of our amazing students, the excellence and expertise of our two great academic institutions, and the complete commitment to each individual student as we make an important, positive impact on the world.

Jason Warnick / Head of School Wayland Academy

3

Exploring SDGs in Action

世界と繋がり 社会変革に貢献する 実践型SDGs教育

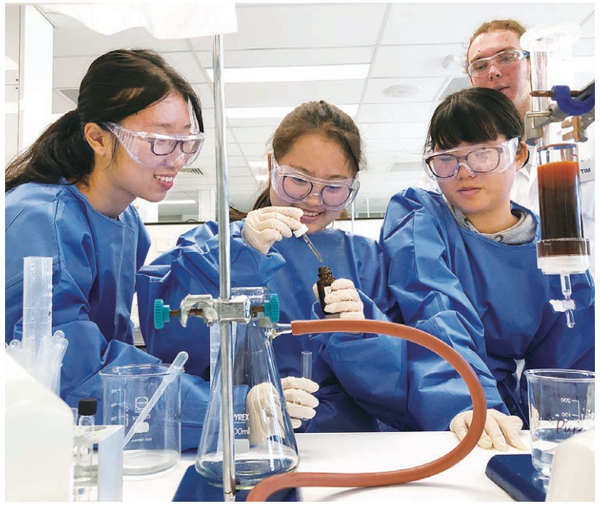
郁文館グローバル高等学校は「SDGs教育日本一」を目指し、全ての教科やカリキュラム、学校行事など、あらゆる活動をSDGs17項目と結び付け、社会問題への意識と解決に向けた意欲を育む実践的な教育を提供しています。生徒は授業や国内外での様々な活動を通じて、世界規模で取り組むべき重要な問題について学び、関心や知識を深め、自ら行動に移すことができる力を育んでいきます。

郁文館グローバル高等学校の取り組み

社会課題を解決する 人材育成のためのSDGs探究

－SDGS BASED RESEARCH－

郁文館グローバル高等学校では、SDGs達成への貢献を目標に据えた生徒主体の探究活動や個人研究を行っています。生徒たちは協働ゼミでテーマと目標を設定し、グループワークやフィールドワークなどを通して実社会と関わりながら活動します。また、留学中にも自らの問題意識に基づき、現地でフィールドワークやリサーチ、実験に取り組んでいます。最終的には、それぞれが深く探究したい個別テーマを設定し、英語で研究レポート・論文を執筆します。生徒たちは、協働ゼミや個人研究を通じて、問題解決に向けた主体的なアプローチや社会との関わり方、研究や調査方法の基礎的なスキル、そして英語でのレポートや論文の執筆能力など、将来世界で活躍するための幅広い実践的なスキルを身に付けていきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

新たな価値を創造する8つのゼミ －8 THEMES－（年度により探究テーマの変更・見直しあり）

エコロジー

食・動物・環境などのテーマを中心に、生態学や環境学に関する研究を行います。現地でのフィールドワークなどを積極的に行い、動植物の研究や植生マップの作成などにも取り組んでいます。

まちづくり

豊かなまちづくりや地方創生を大きなテーマに掲げ、都内や地方の様々なまちを訪れ、現地の人々との交流などを通じて、まちの魅力を引き出すアイデアの提案と実行を行っています。

公共政策

現代における公共的な諸問題を深く理解し、行動を起こすことをテーマに活動しています。政府や地方自治体などと連携し、より良い社会づくりに貢献するため、様々な活動に積極的に取り組んでいます。

国際協力

世界中で発生している飢餓や紛争などの国際的な課題に対してアクションを起こすことをテーマに活動しています。世界各国でのフィールドワークやオンライン交流を通じて、世界の課題に真摯に向き合いながら、持続可能な取り組みを推進しています。

STEAM

科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、アート（Art）、数学（Mathematics）を主軸にした様々な研究活動に取り組んでいます。

総合人間科学

哲学・心理学・社会学の3つの観点から社会問題の分析に取り組んでいます。個々の興味関心に基づき研究テーマを選択し、外部機関とも協働しながら、包括的なアプローチで研究を推進しています。

ビジネス

「SDGs × ビジネス」をテーマに、個々の興味関心に基づいたソーシャルビジネスを考えます。持続可能な社会づくりに貢献する独自のビジネスモデルを追求し、新たな価値創造に取り組んでいます。

メディア・アート

「創造と共有」をコンセプトに掲げ、多様な芸術や表現について学び、それらが社会に与える影響を探究しています。また、個人やチームで創作プロジェクトに取り組み、独自の表現力を追求しています。

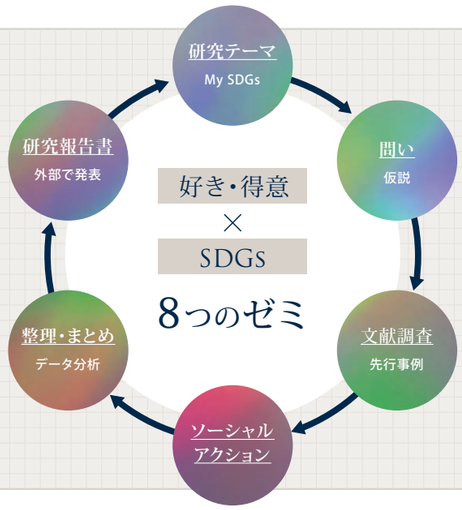
外部アカデミスト －ACADEMIST－

2023年度からはSDGs探究活動や個人研究において、外部アカデミストとの連携をスタート。東京大学や京都大学、北海道大学などに在籍するトップレベルの若手研究者が郁文館グローバル高等学校の生徒を直接指導します。生徒たちは優秀な研究者から専門的な知識や理論を学び、探究活動や個人研究をさらに発展させることができます。

ゼミ名	アカデミスト所属 / 専門
エコロジー	京都大学大学院 / 生態系（生物学）
まちづくり	北海道大学博士後期課程 / 心理学
公共政策	城西国際大学薬学部・元ハーバード大医学部研究員 / 生殖医学
STEAM	東京理科大学博士後期課程 / 電気化学次世代電池
総合人間科学	東京大学博士後期課程 / 認知科学
ビジネス	Red Arrow Therapeutics（東京大学でPh.D.）/ ナノ医療（医学）
メディア・アート	京都大学博士後期課程 / 言語芸術

（2023年度実績）

郁文館のSDGs探究サイクル



［POINT］

❶ 各ゼミに外部アカデミスト（若手研究者）を配置

❷ 5つの研究講座を開講

① 研究の本質的意義と社会的使命
② 研究の実施手法（研究サイクル）
③ リサーチクエスチョンの立て方
④ 文献調査の方法（参考文献）
⑤ データ収集・分析のポイント

❸ Ai GROW*を導入して探究活動を通じた生徒のコンピテンシー（行動特性）を定量化

＊Ai GROWとは：生徒の思考力・表現力・判断力や主体性などをAIを活用して客観的に可視化する評価ツール

生徒の探究活動・表彰実績

郁文館グローバル高等学校の生徒たちは、探究活動や個人研究の成果を学内外で積極的に発表し、様々なコンテストでこれまでに多くの賞を受賞しています。

2023年度

NO.1

FIRST Robotics Competition（FRC）2023
世界大会優勝
（留学先のカナダのチームの一員として参加）

ベネッセSTEAMフェスタ2023 **参加**
「有翼モデルロケットの開発及び飛行特性」

2022年度

BRONZE

材料技術研究協会 International Student Symposium 2022
～次世代サイエンティストの育成～
ブロンズ賞「太陽フレアによる停電予測と対策」

第46回全国高等学校総合文化祭東京大会 自然科学部門　生物部門 **審査員特別賞**
「麻を使ったバイオマス燃料の可能性」

テクノアイデアコンテスト テクノ愛2022 **健闘賞**
「カリカリのコーンフレークが食べ隊！」

JAXA宇宙教育センター APRSAF水ロケット大会 **日本代表選出**

甲南大学リサーチフェスタ2022 **ロジカルデザイン賞**
「若者の投票率を上げるには」

第22回神奈川大学全国高校生理科・科学論文大賞 **努力賞**
「有翼モデルロケットの開発及び飛行特性」

JSEC2022 第20回高校生・高専生科学技術チャレンジ **佳作**
「有翼モデルロケットの開発及び飛行特性」

JAXA宇宙教育センター 種子島エアロスペーススクール2022 **参加**

ロールス・ロイス サイエンスキャンプ2022 **参加**

THKものづくり探究教材 **参加**

COLLABORATION　PROGRAM

SDGs 高大連携 プログラム

2022年度から学園内にSDGs推進部が設置され、より充実したSDGs教育の実践を目指し、外部団体とのパートナーシップを推進しています。現在、法政大学や桜美林大学、立命館アジア太平洋大学（APU）との高大連携を通じて、生徒は大学の教員や学生と交流し、SDGsについての理解や学びを深めています。

4

Strategic Guidance for Your Journey to the World's Top Universities

世界TOP大学が照準 グローバル基準の戦略的受験指導

郁文館グローバル高等学校の卒業生は、国内外の多岐に渡る大学へ進学しています。毎年世界大学ランキング上位の海外大学や、国内の国公立・難関私立大学へ多数の合格者を輩出しています。過去5年間では、THE世界大学ランキングTOP100に27名、TOP200に54名が合格。中には海外大医学部への進学など、活躍のフィールドは世界中に広がっています。

THE世界大学ランキング2023合格実績（2017~2021年度）

トップ100 27名　トップ200 54名

● 過去5年間のTHE世界大学ランキング2023 TOP200 合格者数

順位	大学名	国	合格者数
18	University of Toronto	Canada	1
29	University of Edinburgh	UK	1
35	King's College London	UK	1
40	University of British Columbia	Canada	2
44	Monash University	AUS/MRY	12
54	University of Manchester	UK	1
54	The University of Sydney	AUS	1
78	Yonsei University	Korea	8
122	Lancaster University	UK	2
130	University of Nottingham	UK/MRY	3
139	University of York	UK	1
168	Northeastern University	US	2
170	Indiana University	US	1
176	University of Liverpool	UK	1
180	University of Arizona	US	1
187	Taiwan National University	Taiwan	15
191	University of Massachusetts	US	1

TOTAL 54名

海外大学合格実績（2017~2021年度）

16カ国 202名 [卒業生数 532名]

● 過去5年間の海外大学 合格者数

国	合格者数	国	合格者数	国	合格者数	国	合格者数
アメリカ	67名	カナダ	10名	スペイン	2名	リトアニア	1名
マレーシア	49名	韓国	9名	カンボジア	2名	中国	1名
台湾	33名	オーストラリア	8名	シンガポール	1名	ハンガリー	1名
イギリス	13名	ニュージーランド	3名	インド	1名	ポーランド	1名

TOTAL 202名

国内合格実績（2018~2022年度）

国公立大学 24名　早慶上理ICU 71名　GMARCH 114名

※卒業生数489名　※国内の大学においては、毎年約9割の生徒が総合型選抜（旧AO入試）または学校推薦型選抜で受験・合格しています

現役進学率（2017~2022年度）

94% [卒業生数 612名]

海外大学合格率 全国No.1

（2018年度郁文館/朝日新聞出版調べ）

生徒数118名に対して、[合格者数]62名 [合格率]52.5%を達成

一人ひとりに寄り添った包括的進路指導 -STRATEGIC GUIDANCE-

郁文館グローバル高等学校では、生徒の希望する進路に合わせた専属進路教員を配置しています。生徒が将来の進路について相談できるメンターとして、進路のアドバイスから受験に向けた準備まで、合格までのプロセス全体をサポートします。また、生徒一人ひとりの夢や希望する進路を全教職員で共有し、全員の知見を持ちよって進路指導の戦略を練っています。

海外大学進学希望者への進路指導

海外大学説明会
海外大学進学に精通した専門教員や各大学の入試担当者よる海外進学説明会を実施。国内大学と海外大学との違いや各国の比較、奨学金情報など、海外大学受験の最新情報を提供します。

海外大学個別相談
教頭がチームの戦略責任者として、目標設定・志望校・奨学金などのアドバイスを行います。担任はポートフォリオ作成や面接指導、Essayコーチ（専門教員とOB・OG）が志望理由書作成や小論文指導に当たります。

IELTS/SAT対策講座
海外大学合格の実績を積み重ねてきたネイティブ教員が、海外大学受験に必要なスコアを獲得するための対策講座を実施します。

ネイティブ教員によるエッセイ指導
海外大学への出願では、エッセイが合否判定において重要な位置づけとなっています。ネイティブ教員が繰り返し添削を行い的確なフィードバックをします。

国内大学進学希望者への進路指導

NIE（Newspaper in Education）
新聞記事やNewsPicksを教材に、SDGs課題などの社会問題に対する英語でのディスカッションを週3回0時間目に実施。自身の探究分野や進路に対して明確なイメージを持たせます。

協働ゼミ
ゼミ毎にフィールドワークを実施し研究レポートを作成。コンテストでの発表などを通し、総合型選抜に向けた力を身に付けると同時に、活動実績を積み重ねます。

教養講座（特別授業）
生徒たちの研究テーマに基づいた教養講座を実施（HRの時間や特別授業期間を利用）。生徒は各教員やゲスト講演者とディスカッションを行うことで教養力を高めます。

総合型選抜に対応した授業
総合型選抜の受験に対応したアクティブラーニング型の授業を各教科・科目にて展開。また、放課後の特別講座や長期休暇期間を利用して、小論文や志望理由書の対策講座（個別添削を含む）を開講しています。

Crimson Education Japanとの連携 -COLLABORATION-

2023年より、海外大学進学指導でトップレベルの実績を誇るCrimson Education Japanと連携し、海外大学受験に対する支援体制のさらなる強化を図っています。

ハーバード/スタンフォード卒の海外進学・留学支援のエキスパート
Crimson Education Japan 代表 松田 悠介氏からのメッセージ

「夢」や「ビジョン」は海外進学をする上でとても大事です。海外大学の出願プロセスでは常に「なぜ日本の大学ではなく、海外進学を目指すのか」「自分が解決したい社会課題や生み出したい価値は何なのか」という問いと向き合い、目的意識を少しずつ明確にしていきます。特に近年、海外進学の競争倍率は高くなっている事を考えると、ますます他の受験生との差別化が大事になってきます。その中で、郁文館夢学園の夢教育は海外大学出願に向けての強い土台を築いていると言えます。この強い土台にCrimson Educationの出願戦略支援/課外活動指導/テスト対策/エッセイ指導を組み合わせる事で、郁文館グローバル高等学校から一人でも多く世界に羽ばたいていく生徒を支援していければと願っています。

Crimson Education 大学合格実績（2018~2023年）

米国トップ10の大学に 1,122名が合格　アイビーリーグ校に 692名が合格　オックスフォード大学&ケンブリッジ大学に 233名が合格

卒業生 INTERVIEW

世界との差を明確に感じ意識が大きく変わりました

高校進学を検討するときに考えたのは、医者を志しながら英語も勉強できる環境という条件でした。それで理系と留学を両立できるできるところを探したら、郁文館グローバル高等学校を見つけて。もうここしかない、という感じでした。ターニングポイントになったのは高校1年の時に行ったシンガポール研修です。現地では世界中の同世代の人たちに囲まれて研究発表をしましたが、世界との差を明確に感じて。そこで、私も含め、みんなの意識が変わりました。ここがグローバル高等学校のいいところだと思います。転んでもただじゃ起きない姿勢というのはこのころ培われたように思います。今後は主席で大学を卒業し、日本での医師国家試験合格を目指しています。英語と理数の力は自分の人生を大きく広げる可能性を秘めていると思います。各分野で世界に挑戦したい人には郁文館グローバル高等学校は最高の環境だと思います。

ハンガリー国立センメルワイス大学
医学部 医学科
加地 登輝（2021年3月卒業）

TOKI KACHI

ネイティブの先生方に号泣しながら何時間も相談したこともあります

語学力の向上に限らず、人間性を育むカリキュラムを提供している点に強く惹かれ、郁文館グローバル高等学校へ入学しました。在学中は、ゼミ、生徒会の運営、部活動、学外のスピーチコンテスト出場など、学内外問わず様々な活動に取り組みました。忙しい日々でしたが、周囲の大人たち、特に先生方の理解と支援があり、とても心強かったです。先生方の生徒一人ひとりに対する親身なサポートがこの学校の魅力の一つだと思います。また、高校入学当初は人前で話すことが苦手でしたが、互いを刺激しあえる仲間と親身になってくれる先生方のおかげで、人前で堂々と話すことができるようになりました。2年次にはカナダへ留学をし、自発的な行動、コミュニケーションの重要性、そして様々な活動を両立するためのタイムマネジメントの仕方を学びました。「自分のcomfort zone（快適な空間）を広げる環境に身を置いてみなさい」という先生の言葉に背中を押され、現在はシドニー大学で神経科学と犯罪学を学んでいます。高校のうちから、英語でのアカデミックな文章構成や論理的思考を学べたことは、大学進学後もとても役立っています。

シドニー大学
神経科学／犯罪学専攻（ダブルメジャー）
浅岡 祐那（2020年3月卒業）

YUNA ASAOKA

英語力だけでなく自分の弱さを克服する濃厚な3年間を過ごしました

幼少期からインターナショナルスクールで培ってきた英語力が「本場で通用するか挑戦したい」という思いから、高校で1年間留学できる郁文館グローバル高等学校へ入学しました。当初は、長期留学に惹かれ入学を決意しましたが、実際はそれだけにとどまらない濃厚な3年間を過ごしました。私が所属していたゼミでは、慶応大学と協働で研究を行い、屋久島国立公園の一部である口永良部島やコンゴ民主共和国への渡航など、様々なフィールドワークを行いました。机上の勉強だけでなく、校外活動で体感した経験を通して学びを吸収できる環境は、郁文館グローバル高等学校ならではの特徴です。また、自主性を大いに育む環境が整っており、自分にしかできないことに全力で取り組める3年間を過ごすことができます。高校2年次の留学では、いかに周りに支えられているかを痛感し、自分と向き合い「己の弱さを受け止め打ち勝つこと」が一番の課題と成長でした。そして今年の春、カナダの大学にて人類学専攻で修士課程を修了し、無事に卒業することができました。高校時代の経験で培った活力と様々な文化や価値観を学ぶ意欲が、今でも私の糧となっています。

ブリティッシュコロンビア大学
文化人類学専攻
佐久間 萌恵（2018年3月卒業）

MOE SAKUMA

5

Achieving Your Dreams with the "10,000 Hours Project"

夢からの「逆算」で奇跡を起こす 10,000時間プロジェクト

郁文館グローバル高等学校には、子どもたちに「夢を持たせ、夢を追わせ、夢を叶えさせる」ことを教育目的とした「夢教育」システムがあります。将来のなりたい姿をカラーで描き、達成までのプロセスを計画化、そして今日すべきことを明確にして日々を送る「夢から逆算した」教育を徹底しています。

逆算の10,000時間で生徒の未来に起こす奇跡

「10,000時間プロジェクト」は、郁文館グローバル高等学校の根幹である夢教育を更に深化させるためのプロジェクトです。生徒は自身の夢や目標の実現に向け、高校3年間で「夢に向かう10,000時間」の使い方を明確にイメージし、計画を立て、実行に移していきます。毎日の取り組みは所定のシートに入力し、教員と共有しながら、計画の進捗状況を可視化します。毎日を夢から逆算した計画に基づいて意識し行動することで、夢を実現する土台となる行動力や努力の習慣、正しい生活習慣を身に付けていきます。

モデルケース

将来の夢：**インパクト投資家**※

希望する進路：**世界トップ100大学**

※インパクト投資とは、社会的な課題の解決と経済的な利益の両立を追求する投資のこと

高校1年次 合計 1,560 時間（平日3時間、休日6時間）

- 基礎的な金融・投資の知識を学ぶ
- 関連する経営学や経済学の知識を学ぶ

平日 105 時間（0.5時間×210日） 休日 155 時間（1時間×155日）

- データ分析の知識・スキルの習得
- 個人研究

平日 105 時間（0.5時間×210日） 休日 155 時間（1時間×155日）

- SDGs課外活動

平日 105 時間（0.5時間×210日） 休日 155 時間（1時間×155日）

- 自己分析
- 海外大学の情報収集・志望校の選定

平日 105 時間（0.5時間×210日） 休日 155 時間（1時間×155日）

- 英検準1級・IELTS6.5取得

平日 210 時間（1時間×210日） 休日 310 時間（2時間×155日）

高校3年次 合計 1,925 時間（平日4時間、休日7時間）

- 専門的な金融・投資の知識を学ぶ
- 業界研究

平日 105 時間（0.5時間×210日） 休日 155 時間（1時間×155日）

- 個人研究

平日 210 時間（1時間×210日） 休日 232.5 時間（1.5時間×155日）

- SDGs課外活動

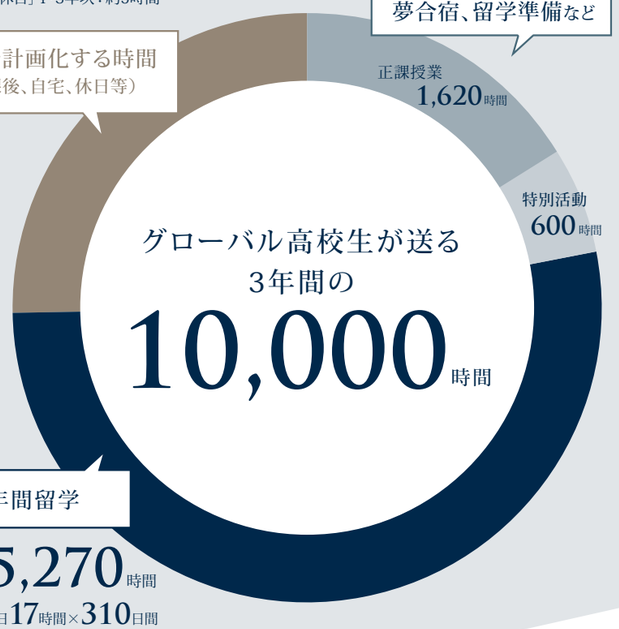
平日 105 時間（0.5時間×210日） 休日 155 時間（1時間×155日）

- 自己分析
- 志望理由書作成

平日 105 時間（0.5時間×210日） 休日 155 時間（1時間×155日）

- IELTS7.0・SAT1,350点取得

平日 315 時間（1.5時間×210日） 休日 387.5 時間（2.5時間×155日）



SUPPORT SYSTEM

「夢手帳」と「夢カウンセリング」で生徒の10,000時間プロジェクトを後押し

郁文館グローバル高等学校の夢教育では、独自のノウハウに基づく「夢手帳」というオリジナルツールを活用しています。生徒たちは、この手帳を使用して自身の将来なりたい姿を考え、逆算して現在の目標・計画を立てることで、日々の行動を明確にしています。さらに、定期的に教員による「夢カウンセリング」を実施し、目標達成度の確認や振り返りを行い、生徒一人ひとりが夢に向かって努力を継続するサポートを行っています。

夢の実現を支える最先端のデジタルキャンパス

郁文館グローバル高等学校では、教育DX日本一を目指すデジタルキャンパス化構想を掲げ、テクノロジーの力を活用して生徒たちの学習や学校生活をサポートしています。また、生徒一人ひとりの学習履歴や面談データを集約したデジタルカルテをもとに、夢カウンセリングや進路面談を実施することで、より一人ひとりに合わせたオーダーメイドの夢教育を提供しています。

DREAM COME TRUE ～ 夢教育を土台に活躍する卒業生の今 ～

自分の個性を尊重してくれたことが、今の事業の源泉になっている

2020年大学在籍中に自殺対策や孤独・孤立対策を行うNPO法人を立ち上げました。生徒を型にはめるような画一的な教育だと個性が潰されてしまう危険性がありますが、郁文館グローバル高等学校の教育はその真逆にあると思います。今の事業の種を得た場所、そして、自分のすべてを受け止めてくれた場所、2つの意味で郁文館グローバル高等学校は自分にとって本当にかけがえのない場所だと思っています。

大空 幸星 さん（25歳）郁文館グローバル高等学校 2016年度 卒業生　KOKI OZORA

高校卒業後、慶應義塾大学総合政策学部に入学。大学在籍中にNPO法人「あなたのいばしょ」設立。内閣官房孤独・孤立の実態把握に関する研究会構成員、こども家庭庁こども家庭審議会こどもの居場所部会委員、東京都こども未来会議委員などを務める。ラジオ番組、各テレビ局、ニュース番組コメンテーターとしても多数出演中。

MY DREAM, MY CHALLENGE

郁文館を選んだ理由

REASON

中学生の頃と比べると自ら主張する姿勢に変わったように思います！

スポーツ関係の通訳者になることが本人の目標なので、高校3年間で英語をしっかりと身に付け、自分の言葉で表現できるための実践的な環境を得られることを期待し、郁文館グローバル高等学校を選びました。元来コツコツと頑張るタイプの子ではありましたが、入学後は、留学までのスケジュールを意識しながら、意欲的かつ積極的に学習に取り組んでいました。シャイな面はまだまだ残っていますが、中学生の頃と比べると、自分から主張をしようとする姿勢に変わっているように思います。家に帰ってくると、「面白い先生がたくさんいて、その先生の教科のテストを頑張りたい！」と話してくれる姿が印象的で、子どものやる気を奮い立たせてくれる先生方と出会えたことに感謝しています。郁文館グローバル高等学校での3年間を通じて、自立し、自ら考え、行動できる人間に成長するとともに、英語を自由に使いこなし表現できるレベルに上達することも期待しています。

木下 光希さんの保護者

MITSUKI'S PARENT

2年生 木下 光希さん

MITSUKI KISHITA

自然に自分の意見を口に出せる環境で夢に向かって努力しています！

留学と書道部に惹かれて、郁文館グローバル高等学校に進学しました。私の夢は、選手や監督に寄り添うサッカーの通訳士として、代表選手とともにW杯ベスト4を獲ることです。そのために、カナダのサッカークラブに入ることを目標として、英語を猛勉強しています。この学校は、留学制度が整っているのはもちろんのこと、チャレンジできる機会がたくさんあり、先生方が生徒一人ひとりに全力で向き合ってくれます。郁文館には、夢を叶えるために夢に日付を入れ、達成までのプロセスを一日単位で明確化する夢手帳というものがあります。その手帳を先生方が丁寧に読み込んでくださり、目標達成までの振り返りを定期的に行います。1対1での面談回数も多く、自然と自分の意見を口に出せるようになり、以前よりも努力を継続することができるようになったと実感しています。そのおかげで、英語力の向上や考査での成績向上、書道の上達などにつながっているのだと感じています。

生徒の夢に対して本気で向き合う先生方が生徒の強みを伸ばしてくれる！

1年間の留学制度と、個人のやりたいことを伸ばしていく教育に惹かれ、郁文館グローバル高等学校を選択しました。1人1校の留学で「孤独」を経験することが、生徒個人の学びにつながるという考え方に共感したことが決め手の1つです。家族や友達のいる慣れた環境から完全に離れて、ゼロから人間関係を構築する経験を高校時代にできることは、本人の貴重な財産になると思います。また、一人ひとりに寄り添った進路指導で、国内大学だけでなく海外大学の受験指導にも力をいれてくださっている点も魅力的です。生徒の夢に対して本気で向き合う先生方が多くおり、入学後は自分の将来や進学先について積極的に話すようになったと感じます。子供から教員の方についての不満を聞いたことが無く、どの先生にどんなアドバイスを求めれば良いかが、子どもの立場からも明確になっているようで、気軽に相談しやすい環境が整っているのだと思います。郁文館グローバル高等学校は、「個性を伸ばしたい子」「ユニークな発想を持つ子」にとって、自分の強みを見つけ伸ばすことができる最適な環境だと思います。

大原 明さんの保護者

AKIRA'S PARENT

2年生 大原 明さん

AKIRA OHARA

先生も生徒も出る杭を伸ばす精神があるここで航空宇宙の研究に邁進します！

私が郁文館グローバル高等学校を選んだ理由は、留学と理系の勉強の両立ができることでした。この学校には、個々人のやりたいことを応援・支えあう「出る杭は伸ばす」の精神があり、いろんな生徒が自主的に企画発案・実行することが当たり前の環境で、たくさんの刺激をもらえる学校生活を送っています。私自身も、同級生と共にJAXAの「水ロケット国際イベント」に取り組んだ経験があり、その5ヶ月間はかけがえのないものでした。将来の夢は、「自らの経験と技術を活かし、航空宇宙産業の発展に寄与する人になること」であり、そのために「海外大学の工学部に入学すること」を目標としています。留学を通じて多くの経験をし、帰国後も航空宇宙関係の大会で仲間と研究に取り組んでいきたいと考えています。

グローバルな環境で秘めた個性を最大限に引き出してくれるので安心して子供を預けられます！

国際的な環境で理系を学びたいという本人の希望から、郁文館グローバル高等学校を選びました。他校とは異なる経験ができ、様々な目的を持った探究ができることもこの学校の強みだと思います。入学後、様々な経験をしたことで、新しい目標に向かって挑戦することへの戸惑いがなくなり、進んで自分のことを話してくれるようになりました。また、日本という異文化に触れながら、自ら設定した明確な目標に対して毎日挑戦している子どもの姿を身近で感じています。生徒一人ひとりの目標に対して熱心に向き合う先生方の充実したサポートと、充実したカリキュラムの賜物だと実感する毎日です。生徒の夢を形にするために、全力でサポートを行ってくださっていることが分かり、安心して子どもを預けることができています。郁文館には、新しいことに挑戦し、グローバルな環境でそれぞれが秘めた可能性を最大限に引き出してくれる仕組みがあります。

メノン ターラさんの保護者

TARA'S PARENT

2年生 メノン ターラさん

TARA MENON

決まった国にとどまらずに世界で活躍する大人になるためにスキルを磨いています！

異なる文化や環境で学ぶことで知見を深め、グローバルに活躍する姉のようになりたいと思い、郁文館グローバル高等学校に進学しました。この学校には個人の考えを尊重するカルチャーがあり、自由な意見交換ができる環境が整っています。私の夢は、野生動物の保護を仕事にし、世界中で活躍することです。現在留学中のオーストラリアでは、動物関連の授業を受けています。また、動物福祉思想の推進と動物虐待の防止を使命とする民間団体や、現地の小学校でのボランティア活動にも参加することも考え、ホストファミリーと相談をしています。ホストファミリーとの生活を通じて、ライフスキルやコミュニケーションスキルが向上し、自己肯定感が高まっていると感じます。英語力の向上はもちろん、グローバルに活躍できる大人になるためのスキルを磨けるよう、残りの留学を充実させたいと考えています。

学費など諸経費 ※学費関係は2023年度の実績です。2024年度は変更となる可能性もありますので、参考にご覧ください。

	1年次 ※1	2年次 ※2	3年次
入学金	¥250,000		
授業料	¥415,000	¥124,500	¥498,000
（留学期間授業料）	¥41,500	¥186,750	
施設設備費	¥100,000	¥20,000	¥100,000
教育充実費	¥70,000	¥21,000	¥84,000
学費関係小計	¥876,500	¥352,250	¥682,000
日本スポーツ振興センター共済掛金	¥1,600	¥1,600	¥1,600
事務管理費	¥1,800	¥1,800	¥1,800
後援会入会金	¥20,000		
後援会費	¥36,000	¥36,000	¥36,000
生徒活動費	¥10,000	¥3,000	¥12,000
校友会費			¥30,000
ICT機器購入費	¥139,320		
卒業アルバム代			¥15,000
国際交流費	¥12,000	¥12,000	¥12,000
諸経費小計	¥220,720	¥54,400	¥108,400
夢合宿	¥70,200		¥70,200
行事関係小計	¥70,200		¥70,200
合計	¥1,167,420	¥406,650	¥860,600

※1：入学時に制服一式の購入費用としておよそ9万円かかります（任意購入を除き一通り購入した際の参考価格）
※2：2年次の留学費用は以下を参照してください。
留学費用概算（現地での学費 ※Honorsクラスは米国高校卒業資格取得費用も含む・生活費、航空券や海外旅行保険など留学に掛かる基本費用を全て含む）
【ニュージーランド】およそ4,500,000～5,000,000円 【カナダ】およそ4,700,000～5,200,000円 【アメリカ】およそ5,800,000～6,300,000円
カナダとニュージーランドは2022年度の実績で、アメリカに関しては現時点での予定額です。留学先の学校及び、為替や物価の変動等により、金額が変わる可能性があります。
○：別途毎年10万円～20万円を学年運営費としてお預りし、教科書・副教材費、講習費、英検・漢検・数検検定料、模試受験料などを引き落とします。

学力特待生制度（2024年度から新設）

郁文館グローバル高等学校では、2024年度より「学力特待生制度」を新設します。
入試結果により1年間の特待生資格（入学金と授業料全額免除）が付与され、入学後の学業成績等により最大3年間更新されます。

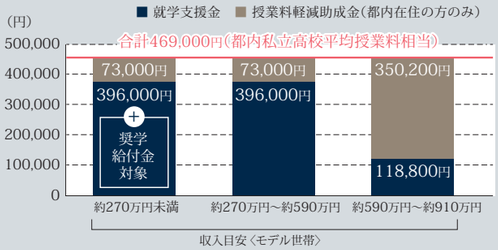
留学助成金・奨学金

高校生を対象とした留学助成金や奨学金は、様々な財団から提供されています。例年、本校の生徒も複数名が外部の留学助成金や奨学金を受け取っています。
＜2022年度実績＞
○東京都私学財団・私立高等学校海外留学推進助成金（80万円 × 8名）
○公文国際奨学財団・公文公記念奨学金（50万円 × 2名）
＊共に、学内選考を経て学校長の推薦が必要（重複可）。その後、各財団における審査があります。

高等学校等就学支援金・授業料軽減助成金について

私立高等学校等に通う生徒が安心して勉学に打ち込めるよう、国の法律に基づく全国一律の制度として、「高等学校等就学支援金」を学校に交付し、家庭の教育費負担を軽減しています。また、都内にお住まいの方は、東京都の助成制度である「授業料軽減助成金」も合わせてお手続きいただけます。詳細は事務局までお問い合わせください。
（2023年4月1日現在の内容）

●授業料軽減助成金月額授業料軽減モデル



私生活や学習面での様々なサポートを24時間体制で提供

男子学生寮 -イクブンドリームハウス-
Ikubun Dream House

Address 〒335-0021 埼玉県戸田市新曽1337（JR埼京線 戸田駅より徒歩10分）
入寮金 100,000円（3年間）
寮費月額 72,000円 内訳 寮費35,000円（光熱費・管理費等）食費37,000円（朝夕2食提供）］

寮について詳しくはホームページへ
郁文館 寮 検索

MISSION
教育理念
子どもたちの
幸せのためだけに学校はある

VISION
教育目的
子どもたちに夢を持たせ
夢を追わせ夢を叶えさせる

GOAL
夢教育のゴール
25歳、人生の主人公として
輝いている人材を育てます

郁文館グローバル高等学校の歩み ～HISTORY～

1889年 「私立郁文館」として創立
1993年 郁文館国際高等学校開校
2003年 理事長に渡邉美樹就任
夢教育がスタート
2006年 郁文館国際高等学校を郁文館グローバル高等学校に改称
2009年 1人1校1年間の留学制度スタート
2010年 共学化、新校舎完成
2013年 バングラデシュに姉妹校NDMSC
（ナラヤンクル ドリーム モデル スクール アンド カレッジ）設立
2018年 コース選択制を導入（「Liberal Arts Track」「Global Science Track」）
『SDGs教育日本一』を学園教育目標に設定
2020年 郁文館グローバル高等学校校長に渡邉美樹就任

未来への挑戦 ～ Road to 2029 ～

2023年 ジャパンSDGsアワード受賞（外務省主催）
ESD大賞（Education for Sustanable Development大賞）受賞
（日本持続発展教育推進フォーラム主催）
2024年 「Honors」クラス設置
Wayland AcademyとのDual Diploma Programeスタート
ユネスコスクール加盟認定を取得
2025年 「World's Best School Prizes」（世界最高の学校賞）
ファイナリストへノミネート
（イギリスの教育支援団体「T4Education」主催）
2027年 世界TOP100大学に10名合格
2029年 創立140周年
世界TOP100大学に15名合格

DREAM EDUCATION MODEL
夢教育で育む3つの力

グローバル力の向上
Global Competency
異なるものと共生し、「未来を切り拓くことができる力」

人間力の向上
Humanity
夢を持ち、夢を追いかけるなかで、「自ら人間性を高めていく力」

学力の向上
Academic Ability
絶対的な知識とそれに基づく「応用力を獲得できる力」

PROGRAM
夢教育の特徴的プログラム

Program 01
本物の経営者、渡邉理事長が主催
高校生社長講座 ～起業塾～
“高校生起業家の輩出”を目的とした高校生版MBA講座。様々な分野の起業家を招いて実践的な講義やケーススタディを行い、未来の起業家を育成します。

Program 02
都会ではできない体験。生きる力を養う
夢合宿
郁文館グローバル高等学校では、毎年長野県にある郁文館の研修施設「鴻夢館（こうむかん）」にて、1・3年生合同の「夢合宿」を行っています。自然の中で共同生活を送りながら、自立心や協調性を育みます。

Program 03
生徒が理事長に人選を直談判も？
夢達人ライブ
夢を実現した「達人」から仕事や人生観について学び、自分の夢を描くプログラム。様々な分野の第一線で活躍している方々をお招きし、熱のこもった講演会を行っています。

Program 04
ニュージーランド伝統のハカ
郁文館グローバル高等学校では全校生徒の必須プログラムとして、ニュージーランドの伝統舞踊であるハカの練習に取り組んでいます。学校行事や外部のイベントなどで、その迫力ある演舞を披露しています。

学校法人 郁文館夢学園
郁文館中学校 | 郁文館高等学校 | 郁文館グローバル高等学校 | ID学園高等学校（広域通信制/単位制高校）
〒113-0023 東京都文京区向丘2丁目19番1号
Tel 03-3828-2206（代） Fax 03-3828-1261 E-mail info@ikubunkan.ed.jp

郁文館グローバル高等学校のすべてがわかる学校説明会開催中
詳しくは郁文館夢学園ホームページへ
https://www.ikubunkan.ed.jp
郁文館 学校説明会 検索

Access
○東京メトロ南北線
東大前駅下車 徒歩5分
○東京メトロ千代田線
根津駅下車 徒歩10分、千駄木駅下車 徒歩10分
○都営三田線
白山駅下車 徒歩10分
○都バス
東京駅丸の内北口（東43）、駒込駅（茶51）、荒川土手（東43）、お茶の水駅前（東43・茶51）より向丘1丁目下車 徒歩3分